ワイヤーメッシュチェックシート

令和5年11月 福島県県北農林事務所 伊達農業普及所 伊達市役所農政課

ワイヤーメッシュ柵を設置する際は、以下の点検ポイントを 確認しながら適正に設置しましょう。また、設置後は、常時効 果が発揮できるよう保守点検作業等も必要です(裏面参照)。

【適正な設置について】

点検ポイント		チェック
1	柵の外側(ほ場の外側)を除草している。	
2	柵は作物となるべく離して設置している。	
3	柵の目合いは、獣種に合わせて適切なものを選	
	んでいる。例:イノシシの場合10㎝格子以下	
4	柵同士を重ねるなどして隙間なく設置してい	
	る。	
5	ほ場の外側に柵の縦線が、内側に横線がくるよ	
	うに設置している。	
6	ほ場の内側に支柱を打ち込んで設置している。	
7	支柱は深さ30cm以上までしっかりと打ち込ん	
	でいる。	
8	柵と支柱がしっかりと固定されている。	
9	柵と地面とが隙間のないように設置され、しっ	
	かりと固定されている。	

※チェック欄に1つでも×がついたら、

改善の必要あり!

裏面へ続く

- ③イノシシの場合、 柵の目合いは、1 Ocm格子以下。
- ※同じ面積だと、正方形 よりも長方形の方が狙 われやすい。
- ⑧柵と支柱を固定。
- ※柵線が細い場合は、支柱を多めに設置する。

【応用】柵上部を外側へ10cm程度折り曲げると、イノシシが柵を跳び越えにくくなる。

- ⑤縦線が外側、横線 が内側。
- ※横線は獣が引っ張りや すいため、外側だと溶接 部が壊れやすい。

- ①柵の外側の除草。
- ※繁茂した雑草が柵に 荷重をかけたり、見通 しを悪化させたりしない ようにする。

柵

高

1.2

m

以

上

⑥支柱が内側。

※重なり部分は、ほ場の 外側から柵の縦線、柵 の横線、支柱(縦)の順 になる。



※隙間は獣に狙われや すい。

⑦支柱を深く挿す。

※浅いと柵の強度が保てない。

9柵と地面に隙間がない。

※柵と地面の隙間は、獣が侵入するために地際を掘り返したり、柵を押し上げたりしやすいため、ペグ等でしっかりと止める。

②柵と作物を離す。

※作物が柵に近いと獣が 執着しやすい。

図 侵入防止柵の適正な設置をするための点検ポイント